

山田和人教授 略歴

○学歴

- 一九七一年三月 兵庫県立尼崎高等学校卒業
- 一九七五年四月 同志社大学文学部文化学科国文学専攻入学
- 一九七五年三月 同右卒業
- 一九七五年四月 同志社大学大学院文学研究科国文学専攻修士課程入学
- 一九七九年三月 同右修了

○職歴

- 一九八二年四月 同志社大学嘱託講師（一九八六年三月まで）
- 一九八六年四月 同志社大学文学部専任講師
- 一九八九年四月 同志社大学文学部助教
- 一九九五年四月 同志社大学文学部教授
- 一九九八年四月 同志社大学大学院文学研究科博士前期課程教授
- 一九九九年四月 園田学園女子大学近松研究所客員研究員（二〇〇〇年三月まで）
- 二〇〇三年四月 同志社大学大学院文学研究科博士後期課程教授

○役職歴

- 一九九五年四月～一九九六年三月 同志社大学文学部文化学科学生主任
- 二〇〇三年四月～二〇〇四年三月 同志社大学文学部文化学科教務主任

- 二〇〇五年四月～二〇〇六年三月 同志社大学大学院文学研究科専攻教務主任
- 二〇〇六年四月～二〇一七年三月 同志社大学プロジェクト科目検討部長
- 二〇〇八年四月～二〇〇九年三月 同志社大学文学部文化科学学生主任
- 二〇〇九年四月～二〇一七年三月 同志社大学PBL推進支援センター長
- 二〇一五年四月～二〇一六年三月 同志社大学文学部国文学科学生主任
- 二〇一七年四月～二〇一八年三月 同志社大学評議員
- 二〇一七年四月～二〇一八年三月 同志社大学文化学会長
- 二〇二一年一月～二〇二三年三月 同志社大学古典教材開発研究センター長

○非常勤講師歴

京都女子大学、同志社女子大学、京都造形芸術大学、佛教大学、光華女子大学、大阪成蹊短期大学、愛知県立大学、筑波大学

○学会・社会活動役職

- 一九九八年四月～二〇〇〇年三月 日本文学協会委員
- 二〇〇二年六月～二〇〇四年六月 日本近世文学会編集委員
- 二〇〇二年六月～二〇〇四年六月 日本近世文学会委員
- 二〇〇四年四月～二〇〇八年三月 日本文学協会委員
- 二〇〇四年六月～二〇一〇年六月 日本近世文学会常任委員
- 二〇〇六年四月～現在 長浜市文化財保護審議会委員
- 二〇〇七年四月～現在 藝能史研究会評議員
- 二〇〇八年四月～二〇一八年三月 園田学園女子大学近松研究所評議員
- 二〇〇九年四月～二〇一一年三月 日本文学協会委員

山田和人教授 略歴

山田和人教授 略歴

二〇一〇年四月～二〇二二年三月

国立文楽劇場文楽公演専門委員

二〇一〇年六月～二〇二二年六月

日本近世文学会委員

二〇一〇年四月～現在

亀崎潮干祭保存会亀崎潮干祭修理委員会

二〇一二年六月～二〇二〇年六月

日本近世文学会常任委員

二〇一四年四月～二〇二一年三月

日本芸術文化振興会評価委員会委員

二〇一五年四月～二〇二〇年三月

名古屋大学教育学部附属中・高等学校 SGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）

運営指導委員

二〇一六年六月～二〇一八年六月

日本近世文学会広報企画委員

二〇一八年六月～二〇二〇年六月

日本近世文学会広報企画委員長

二〇二〇年一月～二〇二一年一月

日本文学協会委員選考委員長

二〇二一年一月～二〇二二年一月

日本文学協会委員選考委員

二〇二〇年六月～二〇二二年六月

日本近世文学会委員

○受賞歴

二〇一八年七月 第五〇回日本演劇学会河竹賞（『竹田からくりの研究』）

山田和人教授 主要業績

〈学位論文〉

修士論文 『傾城吉岡染』の方法―宝永期時代浄瑠璃の展開を中心に―（一九七九年三月 同志社大学）
博士論文 竹田からくりの研究（二〇一九年三月 同志社大学）

〈単著〉

『洛東遺芳館所蔵 古浄瑠璃の研究と資料』（二〇〇〇年二月、和泉書院）
『竹田からくりの研究』（二〇一七年一〇月、おうふう）

〈編著・共編著・分担執筆〉

叢書江戸文庫 『豊竹座浄瑠璃集（二）』（一九九〇年三月、図書刊行会） 分担 『南蛮銅後藤目貫』 翻刻・解題
『古浄瑠璃正本集』 角太夫編第一（一九九〇年七月、大学堂書店） 共編
『古浄瑠璃正本集』 加賀掾編第四（一九九二年二月、大学堂書店） 共編
『浄溜璃の世界』（一九九二年六月、世界思想社） 文楽と地方の人形芝居 分担執筆
『講座元禄の文学』 4（一九九三年三月、勉誠社） 用明天王職人鑑（共著） 分担執筆
『竹本義太夫浄瑠璃正本集』 上・下巻（一九九五年二月、大学堂書店） 共編
『私説 昭和の文楽』（一九九五年五月、和泉書院） 共著
『豊竹座浄瑠璃集』「三」（一九九五年六月、図書刊行会） 編著
『講座・日本の演劇』 4（一九九五年八月、勉誠社） 三都の興行形態 分担執筆
『近世演劇を学ぶ人のために』（一九九七年五月、世界思想社） 舞台と演出―からくりと手妻の場合― 分担執筆

『日本古典文学研究史大事典』（一九九七年二月、勉誠社）からくり 分担執筆

『滋賀県の民俗芸能』（一九九八年三月、滋賀県教育委員会）人形・からくり 分担執筆

『岩波講座歌舞伎・文楽』第八巻（一九九八年五月、岩波書店）人形・からくり 分担執筆

『講座日本の伝承文学』六巻『芸能伝承の世界』（一九九九年三月、三弥井書店）からくりの伝承世界―六どう哥ねんぶつ―を中心に―

分担執筆

『国際偶戯学術検討会論文集』（一九九九年六月、雲林県立文化中心）竹田からくりの研究と絵画資料 分担執筆

『近松の三百年』（一九九九年六月、和泉書院）竹田近江少掾清房の竹田芝居 分担執筆

平成一〇年度～二二年度科学研究費補助金（基盤研究C2）研究成果報告書『無形文化財と記録・保存―都をどりの一六ミリ映画を題材と

して―』（二〇〇一年三月）都をどりと舞台装置 分担執筆

『東郷町文弥節人形浄瑠璃調査報告書』（二〇〇二年三月、東郷町教育委員会）東郷町に残る人形の形態と操法の特徴 分担執筆

『歌舞伎浄瑠璃 稀本集成』上下（二〇〇二年五月、八木書店）「四天王寺桜御帳」「大莊嚴御前細工」「源五郎鮎八景湖」 分担執筆

『亀崎潮干祭総合調査報告書』（二〇〇五年二月、半田市・亀崎潮干祭国指定推進委員会・亀崎潮干祭保存会）からくり 共著 分担執筆

『浮世絵大事典』（二〇〇八年六月、東京堂出版）「操り芝居」「糸操り」「門付芸」「曲独楽」「蹴鞠」「白拍子」「大黒舞」「宙乗り」 分担執筆

『日本の伝統芸能講座』舞踊・演劇（二〇〇九年二月、淡光社）人形芝居の流れ―竹本座成立にいたるまで― 分担執筆

『京の常識事始』（二〇一〇年三月、講談社）大津祭源氏山からくり 分担執筆

『学生・職員と創る大学教育―大学を変えるFDとSSDの新発想』（二〇一二年二月、ナカニシヤ出版）君は何かができるようになったのか―

プロジェクト型チーム学習と初年次の導入教育 分担執筆

『からくり人形の世界―その歴史とメカニズム―』（二〇一二年七月、安城市歴史博物館）からくりの文化史 分担執筆

平成三三年度～二四年度科学研究費補助金（基盤研究B）研究成果報告書『江戸時代伊勢商人の文芸活動の研究』（二〇一三年三月）石水

博物館のからくり資料 分担執筆

『大津曳山祭総合調査報告書』(二〇一五年三月、大津市教育委員会) 曳山のからくり 分担執筆

『文字書きからくり人形調査報告書』(二〇一七年三月、安城市歴史博物館) 安城市文字書きからくり(曲書き)の文化史的な位置づけ 分担執筆

担執筆

『日本の舞台芸術における身体―死と生、人形と人工体―』(二〇一九年三月、晃洋書房) からくり人形における身体―からくり人形と手妻

人形― 分担執筆

〈逐次刊行物等所収論文〉

『雪女五枚羽子板』の成立について―二世三右衛門の芸風とその追善を中心に―(『同志社国文学』15、一九八〇年一月、同志社大学国文学会)

『傾城吉岡染』の方法―松本治太夫正本『石川五右衛門』との比較を中心に―(『同志社国文学』19、一九八一年一〇月、同志社大学国文学会)

洛東遺芳館本『源平軍論』について(『近世文藝』42、一九八五年五月、日本近世文学学会)

井上市郎太夫正本『弘法大師出世之巻』について(『近世文藝』43、一九八五年一月、日本近世文学学会)

『傾城反魂香』の方法(『日本文学』35、一九八六年三月、日本文学協会)

『以呂波物語』の特質について(『同志社国文学』31、一九八八年十二月、同志社大学国文学会)

からくりと古浄瑠璃(『歌舞伎 研究と批評』9、一九九二年六月、歌舞伎学会)

伊藤出羽権掾のからくり絵巻(『演劇研究会公報』19、一九九三年六月、演劇研究会)

『竹田大からくり双六』について(『日文学』154、一九九三年一月、同志社大学日文学会)

竹田大からくり「傀儡師」について―フィールドと文学史の接点―(『歌舞伎 研究と批評』12、一九九三年十二月、歌舞伎学会)

田中組「傀儡師」の人形とそのからくりの構造(『同志社国文学』40、一九九四年三月、同志社大学国文学会)

手妻研究資料としての『若水千歳狐』(『同志社国文学』41、一九九四年二月、同志社大学国文学会)

からくり演出と絵画資料(『近世文藝』61、一九九五年一月、日本近世文学学会)

田中組「傀儡師」の人形とそのからくりの構造 その二(『同志社国文学』44、一九九六年三月、同志社大学国文学会)

- からくりと浮世草子（『同志社国文学』45、一九九六年二月、同志社大学国文学会）
- 文楽人形の演技動作における確率的要素の解析（ホームロボットの情緒豊かな行動生成を目指して） 共著（『電気学会論文誌 電子・情報・システム部門誌』117、一九九七年四月、電気学会）
- 文楽人形の動作時系列の標準化 共著（『ロボティクス・メカトロニクス講演会講演論文集』一九九八年六月、日本機械学会）
- 竹田からくり関連の絵画資料（『國語と國文學』76―11、一九九九年一月、東京大学国語国文学会）
- アジアの人形芸と日本の人形芸（『国文学』45―2、二〇〇〇年二月、學燈社）
- 文楽人形演技の動作軸の位相要素の解析 人間型アミューズメント・ロボットの情緒豊かな動作生成を目指して 共著（『日本機械学会論文集C編』66―644、二〇〇〇年四月、日本機械学会）
- 人間型ロボットの動作生成において情緒を強調する一手法 初期時刻を変化させたKM201Language in方程式を用いた文楽人形の演技動作の解析 共著（『日本機械学会論文集C編』66―644、二〇〇〇年四月、日本機械学会）
- 『竹田新からくり』について（『演劇研究会会報』26、二〇〇〇年六月、演劇研究会）
- Wavelet係数を用いた時系列の標準化手法 文楽人形の演技動作時系列の標準化への応用 共著（『日本機械学会論文集C編』66―646、二〇〇〇年六月、日本機械学会）
- 古典芸能のライブプレゼンテーション（『大学時報』274、二〇〇〇年九月、日本私立大学連盟）
- 文楽人形のモーション・キャプチャ・データと舞踊譜との相互変換におけるコンピュータ内での身体運動の記述形式 共著（『じんもんこ』2000論文集2000〕200―17、二〇〇〇年十二月、情報処理学会）
- IAI-80-118 文楽人形の演技動作の動作軸の位相・振幅要素の解析 共著（『ロボティクス・メカトロニクス講演会講演概要集 2000〕二〇〇〇年、日本機械学会）
- IAI-80-117 連続 Labanotation による文楽人形の演技動作の解析 共著（『ロボティクス・メカトロニクス講演会講演概要集 2000〕二〇〇〇年、日本機械学会）

からくりと能―「融大臣三日月雛形」を中心に―（『同志社国文学』55、二〇〇一年二月、同志社大学国文学会）
劇場・舞台―『国性爺後日合戦』の舞台と人形―（『国文学』47―6、二〇〇二年五月、學燈社）

座談会 情報化の進展と大学教育 共著（『大学時報』295、二〇〇四年三月、日本私立大学連盟）

『役者披顔桜』と竹田芝居の江戸下り（『演劇研究会会報』30、二〇〇四年六月、演劇研究会）

田中近江大掾のからくり―芸能と科学の狭間―（『同志社国文学』61、二〇〇四年十二月、同志社大学国文学会）

田中近江大掾のからくり その2―弓曳き童子の場合―（『同志社国文学』62、二〇〇五年三月、同志社大学国文学会）

『双生隅田川』の四段目の舞台演出について（『近松研究所紀要』16、二〇〇五年二月、園田学園女子大学近松研究所）

からくりと能（二）―『三笠山春日籠神』を中心に―（『人文学』179、二〇〇六年三月、同志社大学人文学会）

草創期の竹田芝居（『演劇研究会会報』32、二〇〇六年五月、演劇研究会）

演劇と百人一首―『戯場百人一首』に見る文化・文政期歌舞伎の生態（『国文学』52―16、二〇〇七年十二月、學燈社）

公募制のプロジェクト科目による地域活性化―往還型地域連携活動のモデルづくりを目指して―（『公募制のプロジェクト科目による地域

活性化取組報告書―往還型地域連携活動のモデルづくりを目指して―二〇〇九年三月、同志社大学教育支援機構教務部教務課・プロ

ジェクト科目検討部会事務局）

同志社大学のPBLプロジェクト学習とポートフォリオ（1）（『文部科学教育通信』227、二〇〇九年九月一日、ジアース教育新社）

同志社大学のPBLプロジェクト学習とポートフォリオ（2）（『文部科学教育通信』228、二〇〇九年九月二十八日、ジアース教育新社）

同志社大学のPBLプロジェクト学習とポートフォリオ（3）（『文部科学教育通信』229、二〇〇九年一月二日、ジアース教育新社）

からくりと式亭三馬の滑稽本（『同志社国文学』72、二〇一〇年三月、同志社大学国文学会）

アクティブな学びのための空間デザイン（同志社大学PBL推進支援センター編『PBLにおける学びの空間デザイン』二〇一〇年三月、

同志社大学PBL推進協議会）

PBL推進支援センターが目指すもの（『PBL推進支援センター通信』1、二〇一〇年三月、同志社大学PBL推進支援センター）

からくり人形と絵画資料（『藝能史研究』190、二〇一〇年七月、藝能史研究会）

PBLを支援するとは？（同志社大学PBL推進支援センター編『ブックレットVol.2 PBLにおける学びのサポート』二〇一一年三月、同志社大学PBL推進協議会）

PBLにおける評価（同志社大学PBL推進支援センター編『PBLガイドブック PBL導入のための手引き』二〇一一年三月、同志社大学PBL推進支援センター）

竹田からくりの演目と分類（『西鶴と浮世草子研究』5、二〇一二年六月、笠間書院）

プロジェクト・リテラシーと新しい教養教育―課題探求能力を育成するPBL教育の方法論的整備―（『プロジェクト・リテラシーと新しい教養教育―課題探求能力を育成するPBL教育の方法論的整備―取組報告書』二〇一二年三月、同志社大学教育支援機構教務部教務課・PBL推進支援センター事務局）

PBLにおける評価（『プロジェクト・リテラシーと新しい教養教育―課題探求能力を育成するPBL教育の方法論的整備―取組報告書』同志社大学教育支援機構教務部教務課・PBL推進支援センター事務局）

SA・TA協議会の発足に向けて（『PBL推進支援センター通信』6、二〇一二年三月、同志社大学PBL推進支援センター）

道成寺の芸能（『同志社国文学』78、二〇一三年三月、同志社大学国文学会）

石水博物館のからくり資料（科学研究費補助金研究成果報告書（基盤研究（B））『江戸時代伊勢商人の文芸活動の研究』二〇一三年三月）

評価力を鍛える！…プロジェクト型演習の可能性を探る（『法政大学文学部紀要』66、二〇一三年三月、法政大学文学部）

PBLの学びを最大値にするために―同志社大学プロジェクト科目の場合に即して―（『大学時報』62―349、二〇一三年三月、日本私立大
学連盟）

CNSは何のために開発されたのか？（『PBL推進支援センター通信』7、二〇一三年三月、同志社大学PBL推進支援センター）

PBLとキャリアデザイン―学ぶ「構え」を学ぶ―（『PBL推進支援センター通信』8、二〇一三年九月、同志社大学PBL推進支援セ
ンター）

PBLと学習支援—インプット・アウトプット往還学習（『PBL推進支援センター通信』9、二〇一四年三月、同志社大学PBL推進支援センター）

地域連携とPBL—地域連携教育プログラムとして—（『PBL推進支援センター通信』10、二〇一四年九月、同志社大学PBL推進支援センター）

近世の和時計とからくり（『悠久』138、二〇一四年九月、鶴岡八幡宮悠久事務局）

アクティブ・ラーニングとしてのPBL—「同志社大学プロジェクト科目」（テーマ公募制・教養教育科目）の試み（『大学教育と情報』147、二〇一四年九月、私立大学情報教育協会）

落書とからくり（『同志社国文学』81、二〇一四年一月、同志社大学国文学会）

PBLと学習支援—学習支援者としての学生の役割と可能性（『PBL推進支援センター通信』11、二〇一五年三月、同志社大学PBL推進支援センター）

同志社大学における主体的な学び—アクティブ・ラーニングとPBL（『PBL推進支援センター通信』12、二〇一五年九月、同志社大学PBL推進支援センター）

水からくりの舞台演出—竹田からくり「八幡宮本記」をめぐって—（『同志社国文学』84、二〇一六年三月、同志社大学国文学会）

非効率的な学びとしてのPBL—失敗から学ぶとは？—（『PBL推進支援センター通信』13、二〇一六年三月、同志社大学PBL推進支援センター）

教育機関の壁を超えるPBL（『PBL推進支援センター通信』14、二〇一六年一月、同志社大学PBL推進支援センター）

プロジェクト科目はいかにして始まったのか—PBL導入の成功因子—（『PBL推進支援センター通信』15、二〇一七年三月、同志社大学PBL推進支援センター）

ワーキング・コミュニティとラーニング・コミュニティ—意欲的な学びを誘発する創造的な環境とは何か—（『PBL推進支援センター通信』16、二〇一八年三月、同志社大学PBL推進支援センター）

「三熊野かげろふ姿」の演技と演出試論 『歌舞伎 研究と批評』 60、二〇一八年四月、歌舞伎学会)

竹田からくりの演技と操法—文献資料と現存からくりから— Takeda Karakuri: Mechanical Puppet Performance Techniques in Historical Documents and Current Practice (『The Journal of the Oriental Society of Australia』 51、二〇一七年、Oriental Society of Australia)

『国性爺合戦』四段目「九仙山」の演技と演出—竹田からくり「九仙山操音曲」を手がかりに— (『國語と國文學』 96—6、二〇一九年六月、東京大学国語国文学会)

近世芸能研究から見る川名津神楽 (『近世文藝』 110、二〇一九年七月、日本近世文学会)

からくりと軽業 (曲技・曲芸)・拍子事 (『藝能史研究』 229、二〇二〇年四月、藝能史研究会)

ボストン美術館所蔵絵巻し 『機関能上古舞台』について (『演劇研究会会報』 46、二〇二〇年五月、演劇研究会)

大道芸とからくり (『演劇研究会会報』 47、二〇二二年五月、演劇研究会)

初学者のためのくずし字教材の可能性と課題—同志社女子中学校・高等学校での出前授業 (夏期講習) での実践を中心に— (『同志社国文学』 95、二〇二二年一月、同志社国文学会)

〈資料紹介・翻刻〉

道薫坊伝記—淡路人形の始祖伝承— (『同志社国文学』 13、一九七八年三月、同志社国文学会)

『純誅夷書』(仮称) について—その実態と編旨としての性格— (『藝能史研究』 75、一九八二年一月、藝能史研究会)

洛東遺芳館本『源平軍論』 (『同志社国文学』 25、一九八四年二月、同志社国文学会)

洛東遺芳館所蔵井上市郎太夫正本『弘法大師出世之巻』 (『同志社国文学』 30、一九八八年三月、同志社国文学会)

翻刻『風俗太平記』 共著 (『同志社国文学』 37、一九九三年三月、同志社国文学会)

翻刻『本朝班女箋』 共著 (『同志社国文学』 40、一九九四年三月、同志社国文学会)

翻刻『曾根崎模様』(上) 共著 (『同志社国文学』 42、一九九五年三月、同志社国文学会)

- 池田文庫所蔵からくり絵番付について（『館報 池田文庫』7、一九九五年四月、阪急学園池田文庫）
- 翻刻『曾根崎模様』（下）共著（『同志社国文学』43、一九九六年一月、同志社大学国文学会）
- 竹田からくり「傀儡師」の絵画資料 追加（『演劇研究会会報』22、一九九六年六月、演劇研究会）
- 甦った曳山からくり―大津祭源氏山の場合―（『企画展 町人文化の精華―大津祭―一九九五年三月、大津市歴史博物館）
- 翻刻『名筆傾城鑑』（上）共著（『同志社国文学』45、一九九六年一月、同志社大学国文学会）
- 翻刻『名筆傾城鑑』（下）共著（『同志社国文学』46、一九九七年三月、同志社大学国文学会）
- 『戯場百人』首 演劇資料としての絵人狂歌集（『同志社国文学』50、一九九九年三月、同志社大学国文学会）
- 資料紹介吉徳資料室所蔵絵尽し（『同志社国文学』55、二〇〇一年一月、同志社大学国文学会）
- 翻刻『尊氏將軍二大鑑』（上）共著（『同志社国文学』57、二〇〇二年一月、同志社大学国文学会）
- 翻刻『尊氏將軍二大鑑』（中）共著（『同志社国文学』60、二〇〇四年三月、同志社大学国文学会）
- 池田文庫所蔵淡路・阿波人形かしらについて（『館報 池田文庫』24、二〇〇四年四月、阪急学園池田文庫）
- 翻刻『尊氏將軍二大鑑』（下）共著（『同志社国文学』62、二〇〇五年三月、同志社大学国文学会）
- 翻刻『武烈天皇鑑』（上）共著（『同志社国文学』64、二〇〇六年三月、同志社大学国文学会）
- 翻刻『武烈天皇鑑』（下）共著（『同志社国文学』66、二〇〇七年三月、同志社大学国文学会）
- 翻刻『悪源太平治合戦』（上）共著（『同志社国文学』70、二〇〇九年三月、同志社大学国文学会）
- 翻刻『悪源太平治合戦』（下）共著（『同志社国文学』72、二〇一〇年三月、同志社大学国文学会）
- 翻刻『会稽多賀登』（上）共著（『同志社国文学』74、二〇一一年三月、同志社大学国文学会）
- 翻刻『会稽多賀登』（下）共著（『同志社国文学』77、二〇一二年二月、同志社大学国文学会）
- 翻刻『よみ売三巴』共著（『同志社国文学』82、二〇一五年三月、同志社大学国文学会）
- 翻刻『武家不断枕』（上）共著（『同志社国文学』84、二〇一六年三月、同志社大学国文学会）

早稲田大学演劇博物館所蔵からくり関連絵画資料の紹介（『演劇研究会会報』42、二〇一六年四月、演劇研究会）

翻刻『武家不断枕』（下）共著（『同志社国文学』85、二〇一六年二月、同志社国文学会）

資料紹介『機関竹の林』（『同志社国文学』87、二〇一七年二月、同志社国文学会）

翻刻『振袖天神記』（上）共著（『同志社国文学』88、二〇一八年三月、同志社国文学会）

竹田からくり関連絵画二種の紹介―からくり「八わたの本記」「福寿海宮島伝記」（『同志社国文学』88、二〇一八年三月、同志社国文学会）

資料紹介『機関千種の実生』（『同志社国文学』89、二〇一八年二月、同志社国文学会）

翻刻『振袖天神記』（下）共著（『同志社国文学』90、二〇一九年三月、同志社国文学会）

資料紹介『若楓東雛形』（『同志社国文学』92、二〇二〇年三月、同志社国文学会）

翻刻『潤色江戸紫』（上）共著（『同志社国文学』92、二〇二〇年三月、同志社国文学会）

翻刻『潤色江戸紫』（下）共著（『同志社国文学』93、二〇二〇年二月、同志社国文学会）

翻刻『聖徳太子職人鑑』（一）共著（『同志社国文学』96、二〇二二年三月、同志社国文学会）

資料紹介『大からくり子供狂げん』（『演劇研究会会報』48、二〇二二年五月、演劇研究会）

〈書評・学界時評〉

〔書評〕白方勝著『近松浄瑠璃の研究』（『日本文学』44―7、一九九五年七月、日本文学協会）

〔学界時評〕平成六年国語国文学界の展望浄瑠璃（『文学・語学』149、一九九五年二月、全国国語国文学会）

〔書評〕斉藤利彦著『近世上方歌舞伎と塚』（『日本文学』62―7、二〇一三年七月、日本文学協会）

〔書評〕大橋正叔著『近松浄瑠璃の成立』（『藝能史研究』230、二〇二〇年七月、藝能史研究会）

〈その他〉

一九九二年の上方芸能界を振り返って 文楽（『上方芸能』111、一九九二年五月、『上方芸能』編集部）

からくり演出と画証（『新日本古典文学大系』月報47、一九九三年九月、岩波書店）

一九九三年の上方芸能界を振り返って 文楽（『上方芸能』117、一九九四年三月、『上方芸能』編集部）

一九九四年の上方芸能界を振り返って 文楽（『上方芸能』120、一九九五年三月、『上方芸能』編集部）

資料の取り持つ縁 演劇研究会（大阪）（『江戸文学』15、一九九六年六月、ぺりかん社）

からくりと人形芝居（『世界の文学』87 歌舞伎と浄瑠璃 二〇〇一年三月、朝日新聞社）

人形浄瑠璃の歴史と特色（『関西の伝統芸能…いま・歴史・みらい（関西あらかると）』11、二〇〇二年三月、関西国際広報センター）

月の都にいりにけり―『融』の世界とその享受―（『廣田鑑賞会能第一三回公演パンフレット』二〇〇九年一〇月、廣田鑑賞会）

古典芸能を応援するかたち―能と大学―（『国立能楽堂公演プログラム』337、二〇一一年七月、日本芸術文化振興会・国立能楽堂）

恋を隔てる川、恋を取り持つ川―『妹背山女庭訓』山の段―（『紫明』29、二〇一一年一〇月、紫明の会）

大学教育と課外活動―能楽部の活動の社会的な意義―（『観世』82―2、二〇一五年二月、観世会京都能楽堂）

山田先生!!初心者の心得を教えてください（インタビュー記事）（『歌舞伎入門の入門』二〇一七年一月、京都市文化市民局文化芸術企画課）

あと白波とぞなりにけり―竹田からくり「傀儡師」を中心に―（『紫明』46、二〇二〇年三月、紫明の会）

シンポジウム「デジタル時代の和本リテラシー―古典文学研究と教育の未来―」報告（共著）（『近世文藝』115、二〇二二年一月、日本近世

文学会）

こんなプラットフォームが!（『日本文学』71―9、二〇二二年九月、日本文学協会）

〈学会発表等〉

洛東遺芳館本『源平軍論』について（一九八三年一月、日本近世文学会）

井上市郎太夫正本『弘法大師出世之巻』について―弘法大師伝浄瑠璃の展開に即して―（一九八四年六月、日本近世文学会）

竹田からくり「傀儡師」について―フィールドと文学史の接点―（一九九二年一月、歌舞伎学会）

からくり演出と絵画資料（一九九四年六月、日本近世文学会）

手妻からくりの舞台演出―『用明天王職人鑑』の鐘入り―(二〇〇四年六月、日本演劇学会)

『双子隅田川』の四段目の舞台演出について(二〇〇四年六月、日本近世文学会)

竹田からくりの演出(二〇〇七年二月、歌舞伎学会)

からくり研究と絵画資料(二〇〇九年二月、藝能史研究会東京例会)

ボストン美術館所蔵竹田からくり絵尽し『国性爺合戦』「からくり九仙山操音曲」について 絵入本ワークショップⅧ(二〇一五年二月、実践女子大学)

近世芸能研究から見る川名津神楽(二〇一八年一月、日本近世文学会)

からくりと軽業・拍子事―愛知県半田市亀崎潮干祭石橋組「布ざらし」の実演を交えて―(二〇一九年六月、藝能史研究会大会)

古典教育に学会は何ができるのか―出前授業から見えてきたもの―(二〇二一年六月、日本近世文学会)

〈講演等〉

古典というトレンド 船弁慶橋本光史静と知盛市川右近(二〇〇七年九月、スライドエクスプラネーション)

歌舞伎・文楽に見る芝居のなかの京都(二〇〇八年六月、高槻市生涯学習センター けやきの森市民大学 同志社大学提携講座)

プロジェクト型教育の可能性と課題(二〇〇九年二月、文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム「公募制のプロジェクト科目による地域活性化」シンポジウム)

同志社大学の教養教育PBL(プロジェクト科目)の試み(二〇〇九年三月、九州工業大学 平成二二年度PBLシンポジウム・FD講演)

会・工学部教育方法改革研修・講演会)

初年次教育とプロジェクト学習(二〇〇九年三月、東京電機大学特色GPシンポジウム)

日本・台湾・ベトナムの人形芝居―アジアの中の人形文化交流史―(二〇〇九年六月、高槻市生涯学習センター けやきの森市民大学 同志社大学提携講座)

「融」いあんない(二〇〇九年一月、第一三回廣田鑑賞会能)

「世界」について（二〇〇九年一〇月、讀賣文化講座）

近松の挑戦！ 人形浄瑠璃が能「道成寺」に挑む（二〇〇九年一二月、京都市生涯学習総合センター 京都アスニー）

PBL推進支援センター設置報告とシンポジウム開催の趣旨（二〇一〇年二月、文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラムシンポジウム「未来を切り拓くPBL―「教育」の壁を越えて―」）

本日のシンポジウムについて（二〇一〇年六月、文部科学省大学教育・学生支援推進事業【テーマA】大学教育推進プログラム 同志社大学PBL推進支援センター二〇一〇年度第一回シンポジウム）

蘇る戦国武将像―あの武将たちはなぜ語り継がれるのか？（二〇一〇年一二月、高槻市生涯学習センター けやきの森市民大学 同志社大学提携講座）

からくり演出と絵画資料（二〇一一年三月、中国武漢大学に於ける研究交流会）

「庭上梅」完成までの経緯について（二〇一一年三月、同志社大学能楽部創部八五周年記念 新作能庭上梅 新島襄を讃えて）
PBLによる学びの改善―有意義な取り組みとは―（二〇一一年七月、法政大学第六回FDワークショップ）

通な芝居見物へ―南座秀山祭三月大歌舞伎鑑賞―（二〇一二年三月、楽洛キャンパス同志社大学課外講座（JTB提携））
PBL教育の実践は日々FD―プロジェクト科目の試み―（二〇一二年三月、神奈川工科大学FD講演会）

評価力を鍛える―プロジェクト型演習の可能性を探る―（二〇一二年七月、法政大学文学部九〇周年企画シンポジウム「文学部で培う社会人力」―いかに社会人力を養うか）

PBL（プロジェクト学習）は学生を変える（二〇一二年九月、同志社女子大学FD講習会）
PBLとチーム学習―プロジェクト科目の場合―（二〇一三年二月、第一八回FDフォーラム 第七分科会 「学生間の協同的学習を促す授業方法」）

PBLの何が学生を成長させるのか？―同志社大学プロジェクト科目（公募制・教養教育）の試みから―（二〇一三年三月、大学教育研究フォーラム）

フォーラム）

山田和人教授 主要業績

佐伯灯籠人形の魅力（二〇一三年八月、平成二五年度文化遺産を活かした地域活性化事業フォーラム地域のたから「佐伯灯籠人形浄瑠璃の不思議な世界」）

PBLの原理と応用―公募制・教養教育PBL同志社大学プロジェクト科目を中心に―（二〇一三年九月、教育関係共同利用拠点提供プログラム 学生指導法（東北大学高等教育開発推進センター））

人形浄瑠璃文楽の演技と演出―現在の舞台と映像を中心に―（二〇一三年九月、フランス・ストラスブール大学における同志社大学企画講座「日本の芸能」その他四名）

PBL (Project-Based Learning) の学習効果とプログラム運営（二〇一三年一〇月、尚綱学院高大連携事業「PBL共同研究プロジェクト：講演と学び」）

社会が求める人間力と大学が育てる人間力（二〇一三年一〇月、同志社大学PBL推進支援センター主催PBL教育フォーラム二〇一三年）

PBLにおける学習効果の検証―卒業後の現場から―
学生が成長するプロジェクト学習―初年次教育とPBL―（二〇一三年一〇月、フェリス女学院大学FD委員会）

PBL (Project-Based Learning) の学習効果と質的向上を目指して―同志社大学プロジェクト科目（公募制・教養教育）の試みから―
（二〇一三年二月、第九回「大学教育カンファレンスE：徳島」（徳島大学高等教育研究センター））

地域と連携したプロジェクト型の学びの意義と課題―大学にとって、地域にとって―（二〇一四年二月、広島修道大学…ひろみら

FES2013「地域つながるプロジェクト2013活動報告会」）

大学におけるアクティブラーニングの必要性…PBLの特徴と実施の留意点（二〇一四年二月、大阪成蹊大学マネジメント学部平成二五年度後期FD研修会）

アクティブ・ラーニングとしてのPBLの学習効果と社会連携教育としての可能性―同志社大学プロジェクト科目の取り組みから―（二〇一四年三月、産学協働教育プログラム事例報告会（キャリア教育FD・PBL研究会）―教育効果の高い「産学協働プログラム」のあり方を考える）

り方を考える）

アクティブ・ラーニングとしてのPBLの学習効果と社会連携教育としての可能性―同志社大学プロジェクト科目の取り組みから―(二〇一四年三月、産学協働教育プログラム事例報告会(新潟大学教育・学生支援機構キャリアセンター・大学境域機能開発センター))
社会連携教育プログラムとしての可能性とPBL―同志社大学プロジェクト科目の取り組み―(二〇一四年三月、産学協働教育プログラム開発のための「地域会議」)

IS・PBLグランプリ 産官学地域協働による人材育成の環境整備と教育の改善・充実(二〇一四年三月、平成二四年度文部科学書産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業)

PBLと学習支援―同志社大学プロジェクト科目におけるTA・SA協議会の試み―(二〇一四年三月、金沢大学・学士課程のコモン・コアとアクティブ・ラーニング)

社会連携型PBLの学習効果・学習支援・導入の留意点(二〇一四年九月、北海道教育大学FD講演)

社会連携型PBLの学習効果と学習支援―同社大学プロジェクト科目(全学設置・テーマ公募制)に即して―(二〇一四年一月、高等教育研究開発センター(淑徳大学))

専門教育におけるプロジェクト学習―基礎演習(初年次)、演習I(3年次)の実践―(二〇一五年一月、弘前大学人文学部FDシンポジウム)

PBLの教育効果について―同志社大学プロジェクト科目の事例を通して―(二〇一五年二月、関西外大FDシンポジウム)

アクティブ・ラーニングとしてのPBL―同志社大学プロジェクト科目(全学設置・テーマ公募制)に即して―(二〇一五年五月、静岡大学FD講演)

第一回目総論・芸能入門の入門・交流する芸能(二〇一五年五月、ムセイオン静岡・グランシップ自主企画事業 連続講座「静岡×徳川時代」)

プロジェクト科目(テーマ公募制・教養教育PBL)の試み(二〇一五年一〇月、文部科学省助成「大学の世界展開力強化事業」国際教養大学「日米協働課題解決型科目 Project Based Learning」総括シンポジウム)

PBLの教育効果について―同志社大学プロジェクト科目の事例を通して―(二〇一五年二月、群馬大学社会情報学部FD講演会)

PBLにおける学習支援について―同志社大学プロジェクト科目(全学設置教養教育・テーマ公募制)に即して―(二〇一五年二月、学生支援機構インターンシップ実務者研修会(関東地区) 日本学生支援機構)

ロボットとからくり―科学と芸能の狭間を生きた田中久重―(二〇一五年一月、国文学研究資料館総合大学院大学文化科学研究科学術交流フォーラム2015)

PBLの特性と先端事例―プロジェクトとは何か―(二〇一五年一月、PBL実践プログラムの振り返りと産学協働による人材育成環境づくり)

曳山のからくり 国指定重要無形民俗文化財「大津祭の曳山行事」(二〇一六年四月、指定記念連続講座(第六四七回れきはく講座))

オンキャンパス(PBL)型インターンシップの可能性と課題―同志社大学テーマ公募制プロジェクト科目の視点から―(二〇一六年六月、平成二八年度 全国キャリア・就職ガイダンス キャリア教育・就職支援についてのセッション 日本学生支援機構)

同志社大学におけるPBL授業設計と学修評価(二〇一六年七月、山口大学・大学教育再生加速プログラム(YU:AP)FD・SDワーク

シヨップ『アクティブ・ラーニング授業開発ワークシヨップ Part1―PBL授業設計のツボを学ぶ―』

プロジェクト科目の事例とPBLの考え方レクチャー(二〇一六年九月、COC+合同FD研修会(和歌山大学))

絵を読み解けば、演技が見える―竹田からくりの演技・演出研究―(二〇一七年五月、愛知県立大学国文学会)

死者に寄り添う舞台―近松心中物の世界―(二〇一七年一月、京都市生涯学習総合センター 京都アスニー「ゴールデン・エイジ・アカデミー」)

聖地としての天王寺界隈を歩く(二〇一八年六月、高槻市生涯学習センター けやきの森市民大学 同志社大学提携講座)

竹田からくりの世界(二〇一八年二月、同志社大学国文学会秋季研究発表会)

日本近世文学会出前授業「昔の文字を読んでみよう!」(二〇一九年七月、同志社女子中学校・高等学校夏期講習)

竹田からくりの世界―からくりとロボット(二〇一九年九月、イタリア・ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学アジア・北アフリカ学部(公

開講義)

からくり人形の演技と構造―竹田からくりの絵画と映像―(二〇一九年九月、イタリア・ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学アジア・北アフリカ学部(公開講義))

竹田からくりの演技と演出―亀崎潮干祭の「布ざらし」と「綾渡り」―(二〇一九年二月、京都造形芸術大学公開講座)

作者近松のしたたかさ(近松の生涯)(二〇二〇年一月～二〇二二年三月、令和二年度「宮水学園」マスター講座(後期))

知っているようで知らない京都を探索する―鴨東のけしき―京都の豪商柏原家を訪ねて―(二〇二〇年一月、高槻市立生涯学習センター)

けやきの森市民大学 同志社大学提携講座)

竹田からくり(近世大坂)と愛知県半田市亀崎潮干祭―田中組「傀儡師」・石橋組「布ざらし」・西組「唐子遊び(綾渡り)」を中心に―

(二〇二二年一月、都のまつり文化研究会)

古典教育に学会は何ができるのか―出前授業から見えてきたもの―(二〇二二年六月、日本近世文学会二〇二二年春季大会シンポジウム「デジタル時代の和本文学研究と教育の未来」)

デジタル時代の和本文学研究と教育の未来―)

続・知っているようで知らない京都を探索する―街道の交差点山科の魅力を解き明かす(二〇二一年九月、高槻市生涯学習センター) けや

きの森市民大学 同志社大学提携講座)

古典教材の未来を切り拓く!(二〇二二年一月、第七回日本語の歴史的典籍国際研究集会)

日本近世文学会出前授業「昔の文字を読んでみよう」(二〇二二年二月、京都府立園部高等学校附属中学校出前授業)

PBLの学習効果・授業支援・評価―同志社大学プロジェクト科目の事例を通して―(二〇二二年一月、PEP Conference 2021 立命館大

学プロジェクト発信型英語プログラム(PEP)主催)

続々・知っているようで知らない京都を探索する―京都のど真ん中・安藤人形店を訪ねる―(二〇二二年九月～一〇月、高槻市生涯学習セ

ンター けやきの森市民大学 同志社大学提携講座)

亀崎潮干祭に見るからくり人形の特徴(二〇二二年一〇月、全国山・鉾・屋台保存連合会総会 令和四年度祭屋台等製作修理技術者会研修

会亀崎大会)

ワールドと文献をつなぐ演劇史(二〇二二年二月、同志社大学国文学会秋季研究発表会)

〈科学研究費補助金等〉

研究課題「江戸時代伊勢商人の文芸活動の研究―石水博物館(津市)所蔵文献資料を手がかりに―」基盤研究(B)(二〇〇九年四月―二

〇二二年三月、研究分担者)

研究課題「興味関心を喚起するくずし字や和本を用いた新しい古典教材の開発に関する研究」基盤研究(C)(二〇二〇年四月―二〇二二

年三月、研究代表者)

研究課題「戦前期大阪における花街の総合的研究―芸能を媒介とする社会関係の形成を視点として―」基盤研究(C)(二〇二二年四月―

二〇二四年三月、研究分担者)

〈メディア報道等〉

義太夫「傾城恋飛脚・新口村の段」(二〇一〇年九月一六日、NHK「芸能花舞台」)

文楽の魅力「碁太平記白石嘶」〜新吉原揚屋の段〜(二〇一二年六月三日、NHK Eテレ「芸能百花繚乱」)

文楽「心中天網島・北新地河庄の段」(二〇一三年一〇月一八日、NHK Eテレ「にっぽんの芸能」)

謡曲「杜若(かきつばた)」〜観世流〜(二〇一八年五月二〇日、NHK FM能楽堂)

謡曲「鉢木」〜観世流〜(二〇一九年三月一七日、NHK FM能楽堂)

文楽「仮名手本忠臣蔵」より(二〇一九年六月三〇日、NHK Eテレ「古典芸能への招待」)

謡曲「楊貴妃」〜観世流〜(二〇二二年一月一七日、NHK FM能楽堂)

謡曲「清経」〜観世流〜(二〇二二年二月二〇日、NHK FM能楽堂)